

平成20年6月2日

東日本高速道路株式会社
関東支社横浜工事事務所
栄東工事長 加藤 健治

【環状4号線下越えトンネル化の検討と実現に努力し、住民との合意なく他案での設計を進めないで頂きたい。】および【神戸橋付近の「いたち川改修工事」の即時停止の申し入れ】について（回答）

貴会ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、弊社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2008年5月23日付けで弊社社長宛提出された「申し入れ」について、以下のとおり回答いたします。

なお、社長宛に提出されておりますが、高速横浜環状南線の事業についての内容であるため、事業を担当しております当職より回答致します。

< 申入れ事項 >

1. ボーリング強行への強い住民の抗議に対し、事業者は「環状4号線下越トンネル」検討を約束した。「環状4号線下越トンネル」は、庄戸のみならず沿線住民の強い要望であり、事業者は時間を掛けても実現に向け誠意を持って努力すること

ボーリング調査は、地元住民の皆様からのご要望である当該地区の非開削工法の採用について検討するためにも必要な調査であり、調査の必要性については、これまでも、繰返しご説明させていただいているところです。

貴会からの要望である「環状4号線下越トンネル」案については、事業者として、現計画との得失などについて総合的に検討の上、評価して参ります。

2. 「環状4号線下越トンネル」を、事業者が行っている「シールドトンネル検討会」「庄戸トンネル検討会」で優先的に検討すること

「環状4号線下越トンネル」案については、「庄戸トンネル検討会」において検討いたします。

なお、すでに、「技術検討会」（仮称）においても、お伝えしているとおり、「シールドトンネル検討会」（正しくは、横浜環状南線 都市型トンネル施工技術検討会）は、トンネル区間へのシールド工法の適用可能性について検討することを目的としており、構造変更を伴うような大規模な見直しは想定しておりません。

3. 「環状4号線下越トンネル検討会」（住民と事業者で構成）で一定の結論が出るか、沿線住民との合意成立まで、「環状4号線下越トンネル」以外の工法による「設計」を行わないこと

当該事業は、「目標宣言プロジェクト」において、平成27年度を開通目標とし、徹底した進捗管理のもとで事業を進めていくこととしています。また、首都圏3環状道路を形成する道路として早期

整備が求められており、地域の皆様からも早期開通を望む声が多数寄せられております。

このため、事業検討に必要な調査・設計を行いつつ、貴会をはじめとした住民の皆様との話し合いを行い、事業の理解が得られるよう努めてまいります。

現在、横浜市環境創造局が栄区上郷町「神戸橋」付近で行っている「いたち川」の改修工事は、環状4号原宿六浦線付近にて地下、標高23.6mに掘り下げるとの同局河川事業課の説明ではありますが、町内会が事業四者に申し入れている横浜環状南線の環状4号線下越え(地下トンネル)協議に支障が出るものと判断されますので、直ちに同改修工事を停止すべく横浜市と協議されるよう申し入れます。

なお、併せて、直ちにご回答頂きたく申し入れます。

道路計画を行う場合には、周辺の道路、河川、土地利用などの現況および将来計画を十分に考慮して行う必要があります。

貴会の要望である「環状4号線下越え(地下トンネル)」案の検討においても、交差する「いたち川」の、改修計画を踏まえた上で、検討を進める必要があると考えております。

ご理解の程よろしく願いいたします。また貴会会員の皆様によろしくお伝え頂きますようお願い申し上げます。

以 上